

地域の身近な相談役 「民生委員」を知っていますか？

民生委員・児童委員（以下民生委員）は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。児童福祉法に基づく児童委員も兼ねています。地域住民の立場で子どもから高齢者の地域の見守りや相談支援、行政への相談の「つなぎ役」として活動されています。

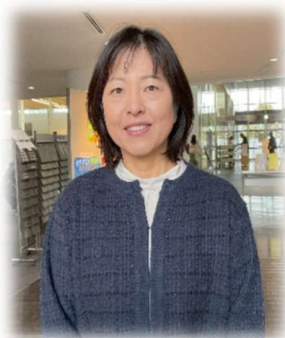


六名学区
榑木明夫 会長

六名学区の地域は、江戸時代から岡崎城の米どころとなっていました。現在は田畑が住宅地に置き換わったが昔ながらの付き合いが残っているので、住民同士が良好な関係性を築いています。民生委員

なったきっかけは定年退職と同時に総代から推薦され、生まれも育ちも六名なので良い機会と思いました。

見守り活動で大切にしていることは、できる限り早く返事をする事と、しっかり話を聞くこと。関係機関に繋ぎ、悩みが解決し「ありがとうね」と言われたときはやりがいを感じます。会長になって3年が経過しましたが、学区内の総代会、福祉委員会、社教委員会などの組織と関わり合いができたことは良かったです。これからの活動としては、総代と連携して「災害時避難行動要支援者」を確実に救助・支援できるようにしていくことと、「孤独死」を無くすために、市役所やさくらの里包括と連携して福祉サービスの必要な方の発見やフォローをしていきたいです。



連尺学区
内藤科野 会長

連尺学区の地域は、歴史的な街並みがあり、行政・商業・住宅が一体化となった岡崎市の中心的な街です。三世代家族も多く、世代間の縦横の繋がりがあり、支え合っていると思います。以前からこの地

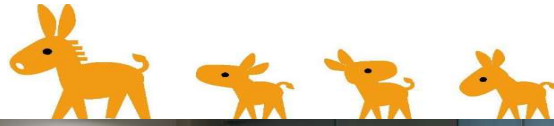
域でお店を営んでいたことから、前任者の方から推薦していただきました。

見守り活動の中では、自分で勝手に判断しないこと、周りの方に相談したり連携を取ったりすることが大事であると思っています。さくらの里包括には色々と相談させていただき、頼りにしています。つなぎ役として関係機関にしっかり橋渡しができたときに、やりがいを感じます。見守りをする方は自分にとって年長者ですので、色々なことを教えていただきとてもありがたいです。訪問して元気な姿を拝見すると本当に安心します。今年度は新しい民生委員が6名入ったので、しっかり取りまとめをし、各町内の情報を交換し、良いところは共有していきたいです。

身の回りの事で支援が必要な方は、下記までご相談ください。



愛知県が 2017 年 9 月に策定した「あいちオレンジタウン構想」の基本理念である「地域で暮らし、学び、働く人々が、『認知症に理解の深いまちづくり』に『じぶんごと』として取り組む社会の現実」のため、「認知症の人にやさしい企業サポーターONE アクション研修」を開催しました。今後も社会全体が高齢化し、高齢のお客様の割合も増加していくと考えられます。企業も認知症の人に対する理解を深め、認知症になっても利用し続けられる店舗やサービス・製品を提供し安心できる街づくりを目指したいと考えています。



R7.10.15 三井住友信託銀行 岡崎支店にて開催



一緒にごまんぞく体操を始めませんか！



岡崎ごまんぞく体操

40 分程度、声掛けや音楽に合わせて、おもりを着けた手足をゆっくり動かす運動です。椅子を使って行うため、立ったままでの運動が難しい方でも安全に行うことができます。市内各地で 297 団体、4742 人が毎週ごまんぞく体操を行っています。(令和 8 年 1 月末現在)

さくらの里地域包括支援センターの担当地域では 20 団体が活動しています。参加したい方、チームを立ち上げたい方、リーダーをしたい方など募集中です。お気軽にお問い合わせください。

岡崎第 1 号

八北ふれあいクラブの皆さん



チーム代表
まついしげこ
松井志げ子氏



ごまんぞく体操の後にセラバンド体操やお茶会等を企画して楽しく参加してもらっています。地域の方が出かけられる社会参加の場があることはとても良いことです。皆さんが元気に参加してもらえることが励みになっています。

